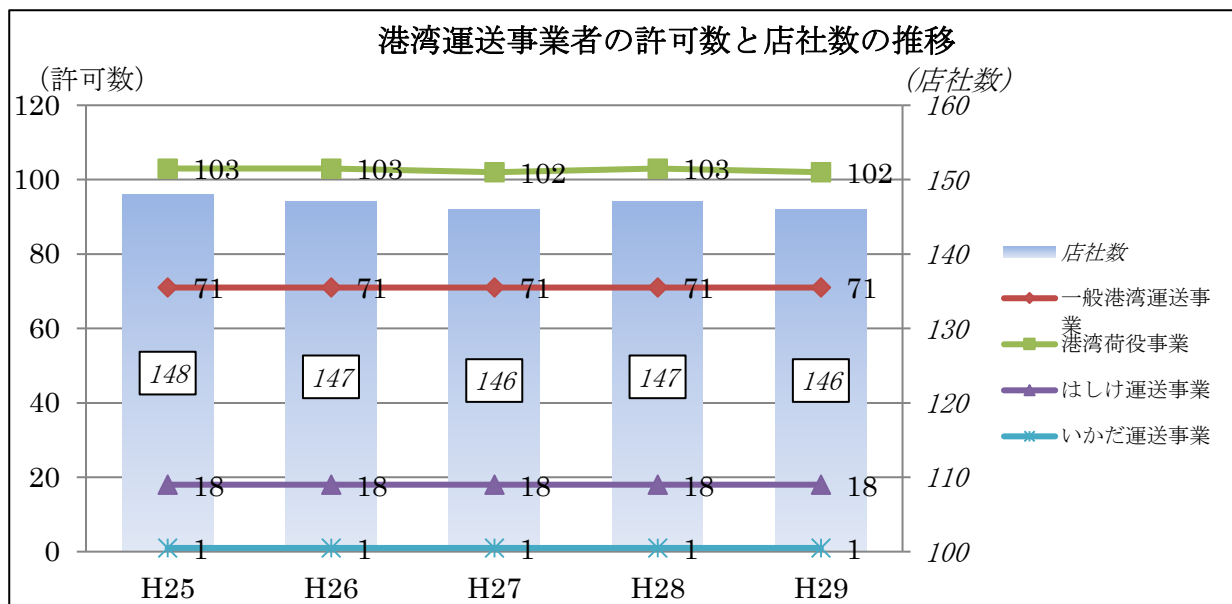


### 3 港湾運送事業の現況

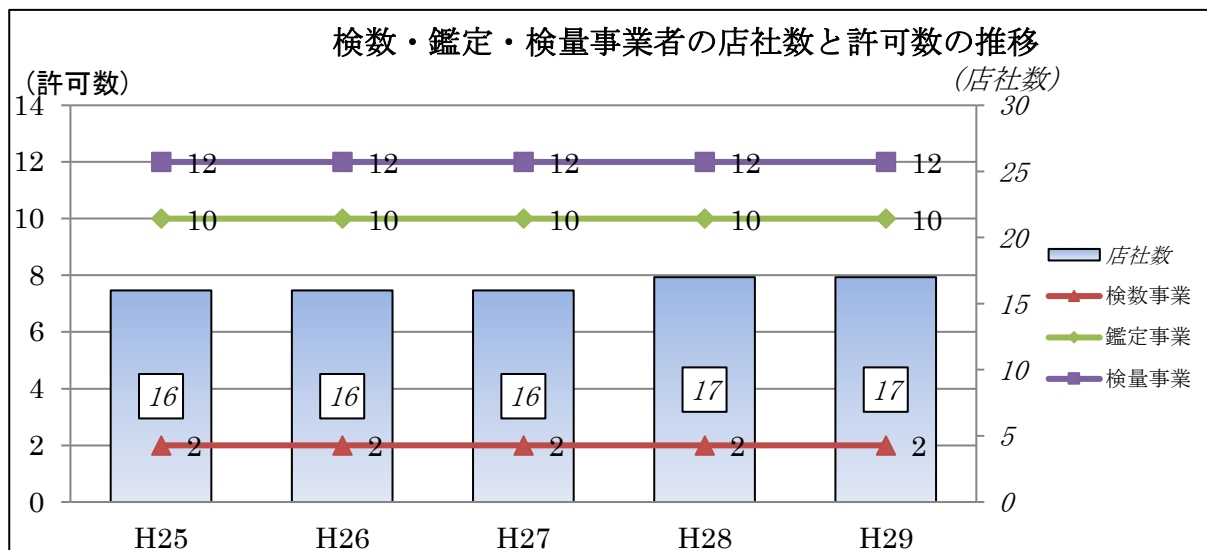
#### (1) 港湾運送事業者数・許可数

管内の指定港湾各地における許可数及び店社数（事業者数）等の推移は第5図から第7図のとおりである。

第5図 管内の港湾運送事業者の許可数及び店社数の推移（各年6月1日現在）

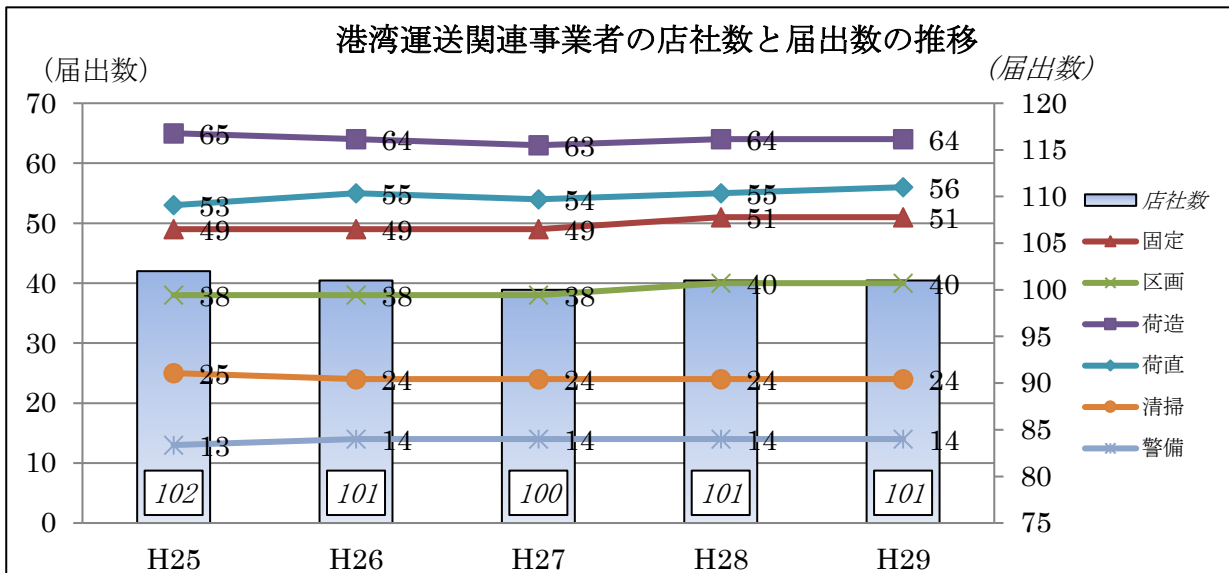


第6図 管内の検数・鑑定・検量事業者の店社数と許可数の推移（各年6月1日現在）



注. 検数・鑑定・検量事業については全国一律許可

第7図 管内の港湾運送関連事業者の店社数と届出数の推移（各年6月1日現在）



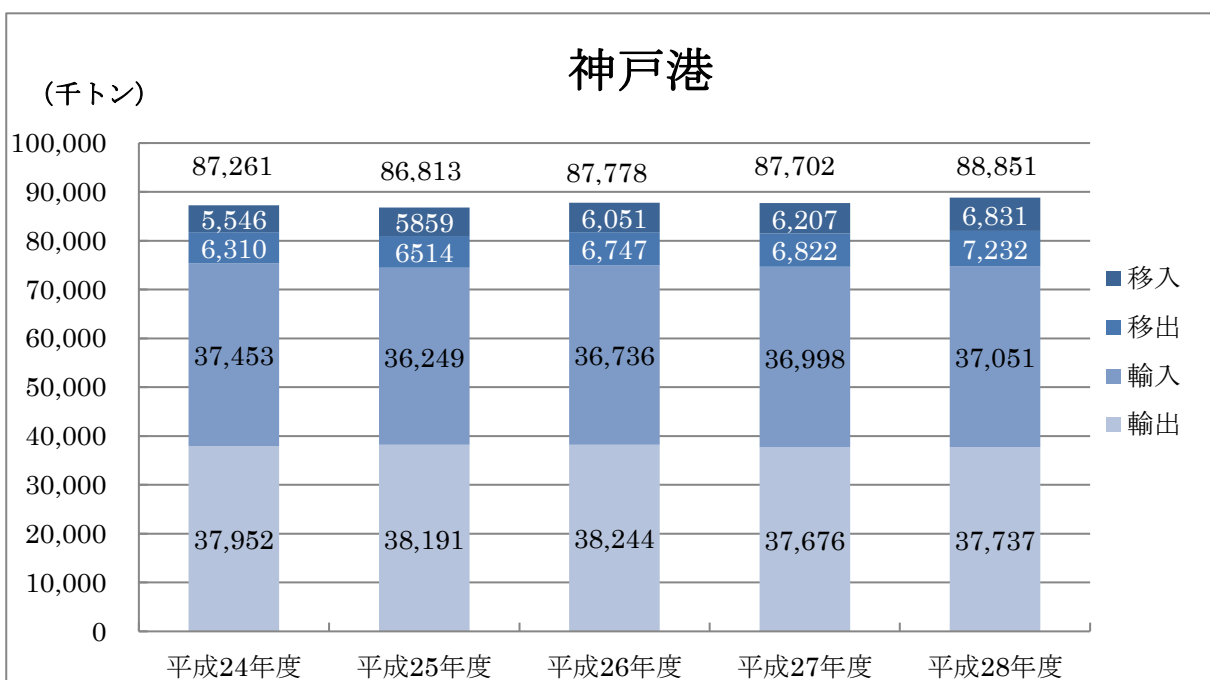
## (2) 港湾運送実績

※ ( ) 内%は対前年度比を示す

管内の港湾運送事業法の指定港である神戸港、尼崎西宮芦屋港、姫路港及び東播磨港の船舶積卸実績は、第8図から第11図のとおりである。

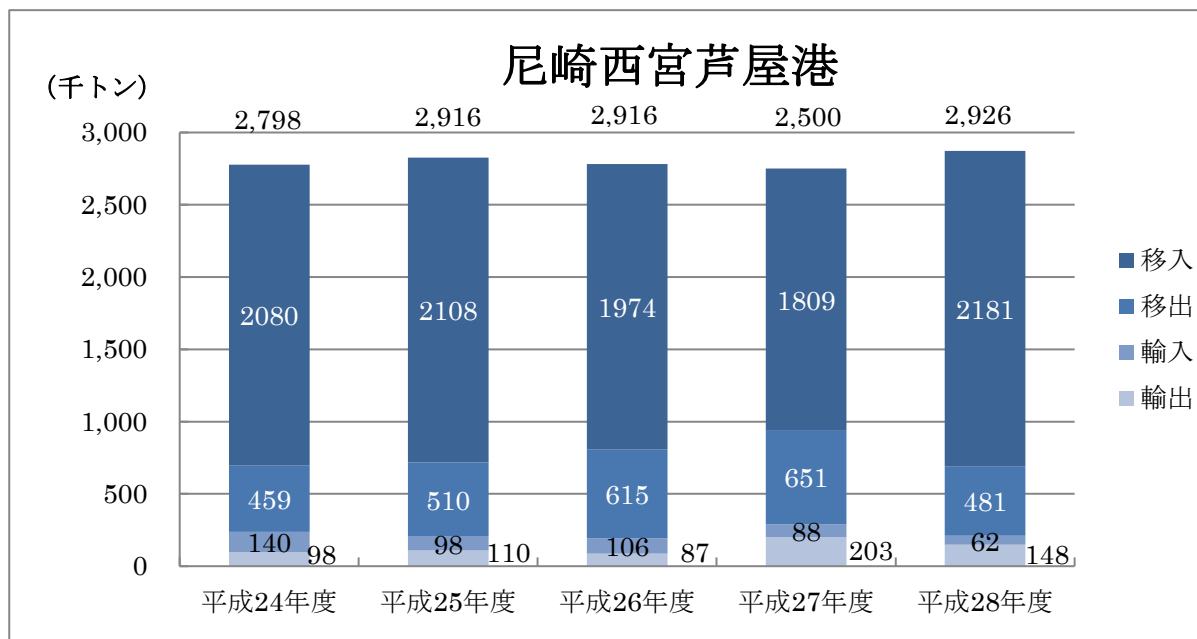
神戸港における平成28年度の総取扱量は、88,851千トン(101.3%)であった。品目別では、コンテナ貨物70,775千トン(103.0%)、石炭3,497千トン(95.5%)、自動車2,606千トン(89.4%)、鉄鋼2,410千トン(94.9%)となっている。

第8図 神戸港船舶積卸実績の年度別の推移



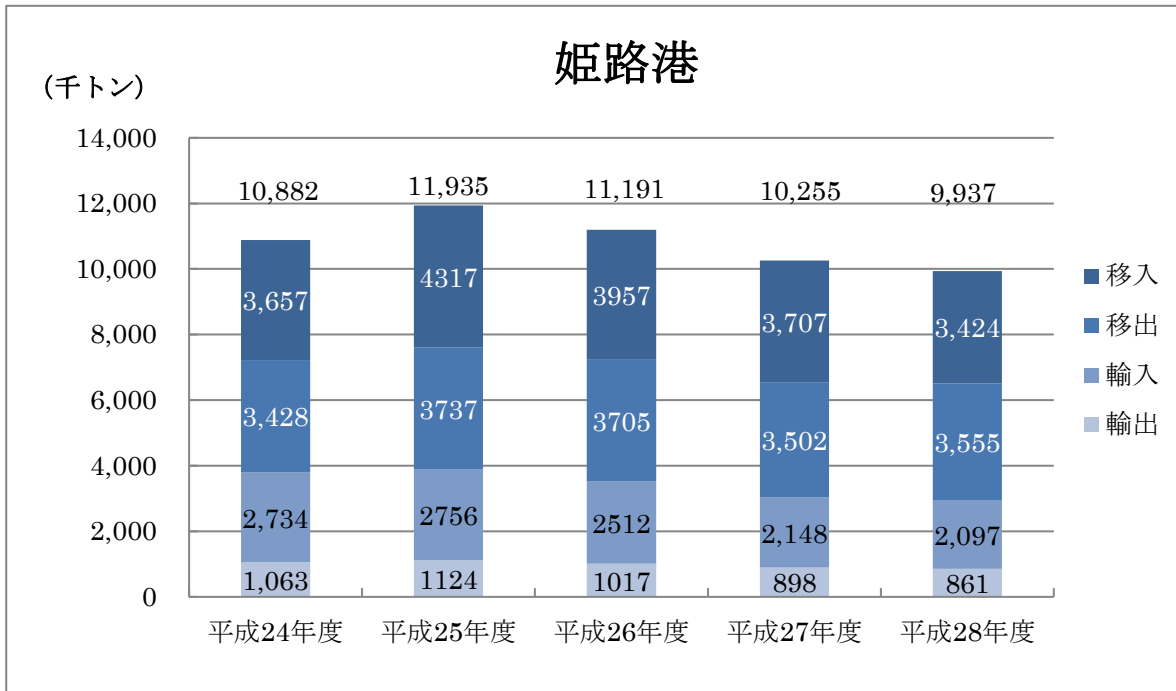
尼崎西宮芦屋港における平成28年度の総取扱貨物量は、2,926千トン（117.0%）であった。品目別では、鉄鋼1,071千トン（102.3%）、自動車994千トン（95.8%）、金属くず247千トン（113.9%）の3品目が、全体の8割弱を占めている。

第9図 尼崎西宮芦屋港船舶積卸実績の年度別の推移



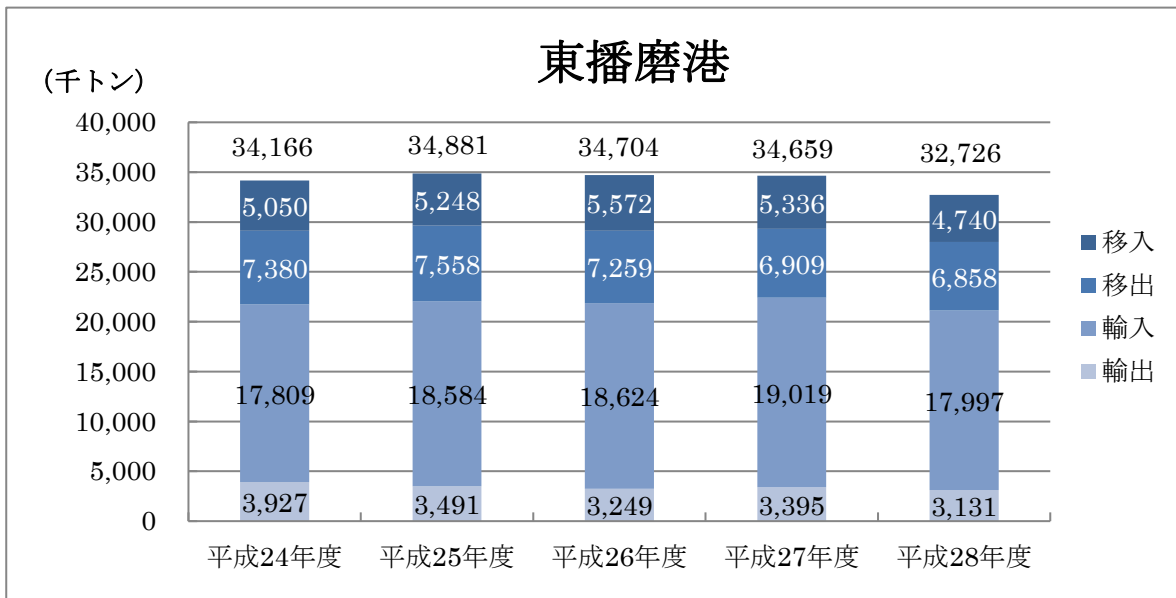
姫路港における平成28年度の総取扱貨物量は、9,937千トン（96.9%）であった。品目別では、鉄鋼5,813千トン（100.1%）、石炭1,827千トン（92.2%）、金属くず1,067千トン（93.5%）の3品目が、全体の9割弱を占めている。

第10図 姫路港船舶積卸実績の年度別の推移



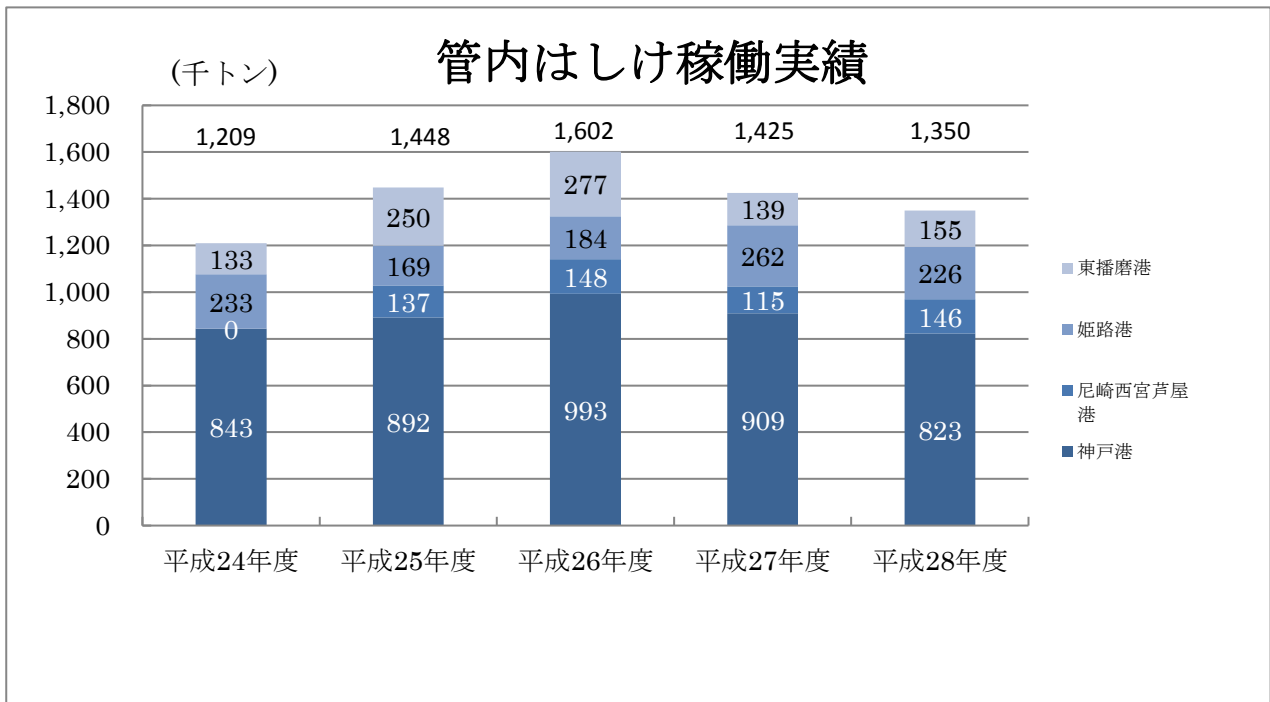
東播磨港における平成28年度の総取扱貨物量は、32,726千トン（94.4%）であった。品目別では、金属鉱14,414千トン（94.4%）、石炭6,913千トン（95.0%）、鉄鋼4,780千トン（92.0%）の3品目が、全体の8割を占めている。

第11図 東播磨港船舶積卸実績の年度別の推移



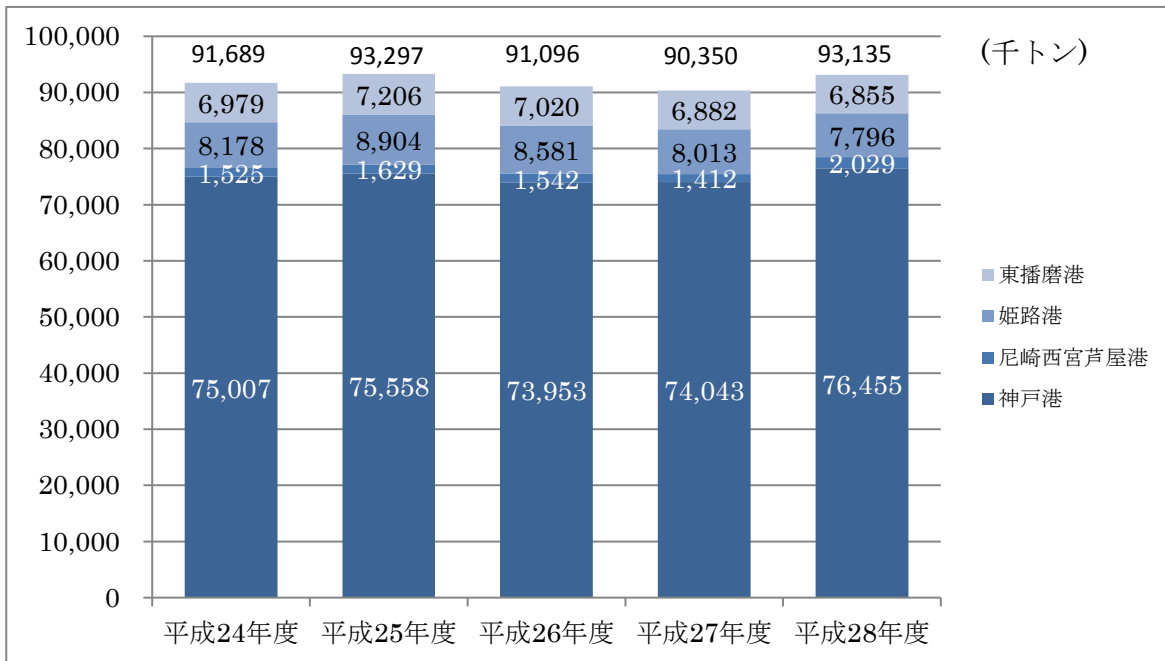
はしけ稼働実績は、第12図のとおりである。管内における平成28年3月末現在の港運はしけ保有状況は、計126隻65,769積トンであり、平成28年度の輸送実績は1,350千トン（94.7%）であった。

第12図 管内のはしけ稼働実績の年度別の推移



各港別の沿岸荷役の実績は、第13図のとおりである。管内における平成28年度の沿岸荷役実績は93,135千トン（103.1%）であった。

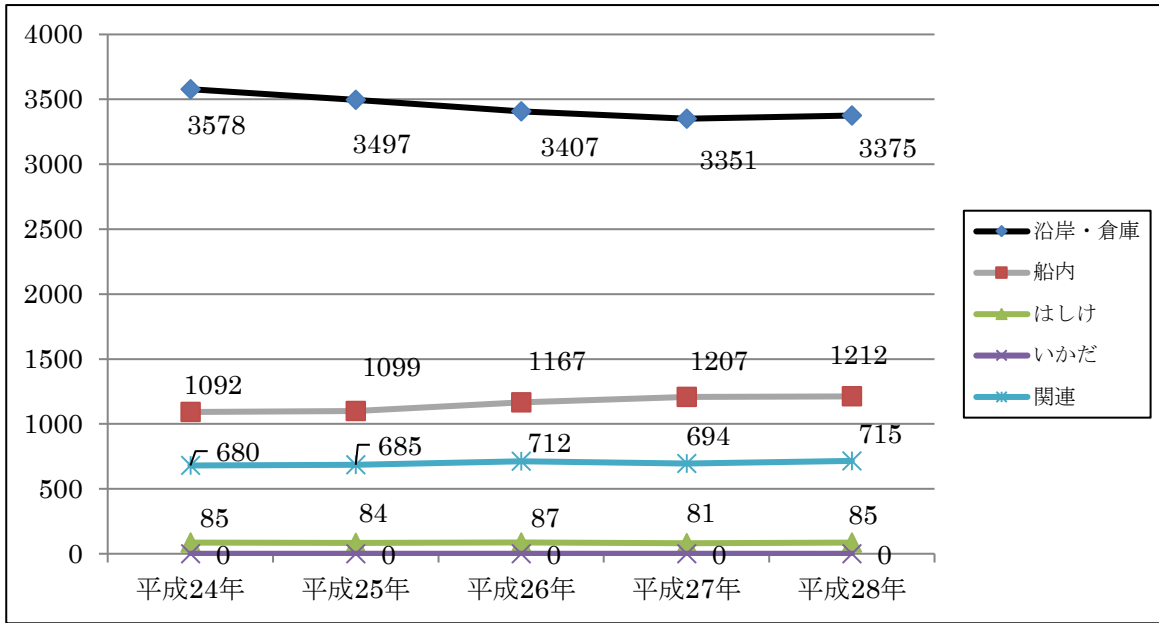
第13図 管内の沿岸荷役実績の年度別の推移



### (3) 港湾労働者の現況

神戸港の常用港湾労働者数は、平成29年3月末における港湾労働法上の届出数で5,387人（対前年同月比101.0%）であった。

第14図 神戸港における港湾労働者数（常用）の推移（各年度末現在）



(資料) 神戸公共職業安定所